

## 第7回 関東甲信越青年経営者フォーラムin茨城

2020年6月6日(土)

ホテルグランド東雲にて開催

毎月第3月曜日につくば市役所コミュニティ棟  
にて実行委員会を行ってあります。

関東甲信越の青年経営者と仲間に  
なれるチャンス、是非ご参加を  
お待ちいたしております。

実行委員長  
株筑波材木店  
筑波洋海

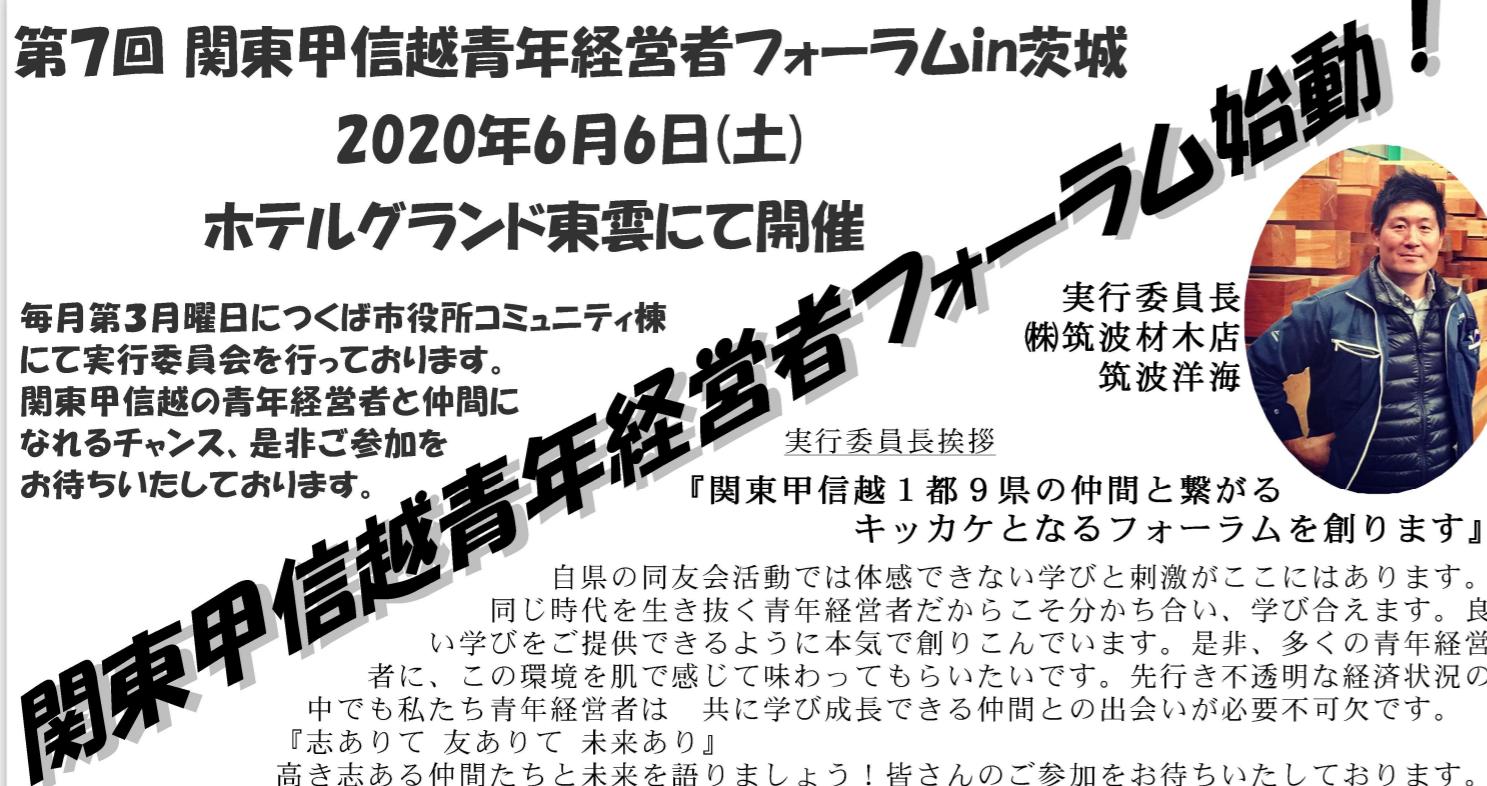


実行委員長挨拶

『関東甲信越1都9県の仲間と繋がる  
キッカケとなるフォーラムを創ります』

自県の同友会活動では体感できない学びと刺激がここにはあります。  
同じ時代を生き抜く青年経営者だからこそ分かち合い、学び合えます。良  
い学びをご提供できるように本気で創りこんでいます。是非、多くの青年経営  
者に、この環境を肌で感じて味わってもらいたいです。先行き不透明な経済状況の  
中でも私たち青年経営者は、共に学び成長できる仲間との出会いが必要不可欠です。  
『志ありて 友ありて 未来あり』

高き志ある仲間たちと未来を語りましょう！皆さんのご参加をお待ちいたしております。



## 12月度 新入会員のご紹介

会員は辞書の  
1ページ！

### 日立支部

久米 孝典さん

宗教法人西宮神社  
宮司



### 水戸支部

小野 純史さん

あすか社会保険労務士法人  
茨城事務所



### 県西支部

富山 純さん

スカイ司法書士事務所  
司法書士



1月理事会承認時点  
会員数 316名

No.283号 2020年1月31日

# DOYU IBARAKI



発行:茨城県中小企業家同友会  
〒310-0851 水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館3階  
Tel:029-243-8230  
Fax:029-243-7225  
Mail:info@ibaraki.doyu.jp

## 第20期経営指針を創る会第8講

経営指針を創る会の第8講が12月20日にザヒ  
ロサワシティ会館で開催されました。第8講  
では、いよいよ中期経営計画の作成に取り  
組みました。

伊藤先生から、「中期経営計画は、これまで  
取り組んできた、経営理念・ビジョンとい  
うありたい姿、SWOT分析で見えてきた現  
状、そしてありたい姿と現状のギャップ＝  
経営課題を解決していくための道筋（SWOT  
クロス分析、シナリオ）を数字に落とし込む  
作業」との説明があり、外部環境の変化  
によっても自社の置かれる状況は大きく変  
わってしまうため、数字を予測するのは非  
常に難しく、受講生の皆さんも作成に大変  
苦労をされていました。

次回はいよいよ今期の経営指針を創る会、  
最後の合宿となります。「経営指針書を創  
り上げる」という目標に向かって、熱い2日  
間となる予定です！



**予告 第21期経営指針を創る会  
説明会開催予定！**

経営に向き合い 未来に何かう 力を手にしよう！！  
～会社の存在意義って？ビジョンってなんだろう？～

◇日 時：2020年3月7日（土）18:00～21:00  
◇会 場：茨城県総合福祉会館4F中研修室  
◇参加費：無料  
※日時・会場等変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。  
会員以外のゲストの方のご参加大歓迎！  
ちょっと気になる・・・という方も気軽にご参加下さい！

## 新春賀詞交歓会が開催されました！



大井川県知事

2020年新年賀詞交歓会が、1月20日（月）  
にホテルテラスザガーデン水戸で開催さ  
れました。170名を超える参加者で会場  
は熱気に溢っていました。大井川和彦茨  
城県知事、高橋靖水戸市長にもご臨席を  
いただき、地域を盛り上げる茨城の中小  
企業経営者へ向けて、熱いメッセージを  
いただきました。ゲスト参加も50名を超  
えて入会表明もいただき、同友会運動の  
啓蒙、茨城同友会を沢山の方に知ってい  
ただく機会となりました。

# 12月の例会報告

## 日立支部



12月6日(金) 多賀市民会館にて  
『私は何業? ~事業の捉え方が会社の未来を拓く~』  
報告者:柴田 香里さん 行政書士法人茨城総合法務事務所

日立支部12月例会は「私は何業! ? 事業の捉え方が会社の未来を拓く~」と題して、自分の考え方や思いがどんどん沸き出てくる、行政書士の柴田香里さんにご報告いただきました。  
どんなに困難なことに対しても首を横に振ることなく、全力で取り組む柴田さんだからこそ、行動を起こした結果が今につながっているということが伝わってきました。  
中小企業にとって先が見えない現在、どのように行動を起こしていくかを考えるとき、G討論のテーマにあつた「あなたの会社・事業は継続できますか?」を常に問いかけ、考えることで、すぐに答えが見つかなくて自社に持ち帰り、様々な考え方を広げていくことができると思います。  
また柴田さんの敬聴力はとても素晴らしく、的確なアドバイスをくれます。「敬って聞く」という姿勢を見習っていこうと思います。

(レポート:高橋 秀幸さん)

## 県央海浜支部



12月13日(金) ワークプラザ勝田にて  
『ワクワクする未来への挑戦!  
~創業時からの想いを成文化して新たなステージへ~』  
報告者:久保木 祐介さん (株)スリーケイデザイン 代表取締役  
昨年同友会入会、現在経営指針を創る会に参加中の久保木さん。今回初めての例会報告で創業時からの想いをたどっていくと2007年の開業時にすでに経営者としての熱い想いを成文化してつくっていたことがわかりました。  
2017~2019年信頼するパートナーが増えるとともに社員を生かした新事業をはじめたり、創る会ではご自身が大好きな海外へのワクワクする未来へのビジョンや理念を成文化し新たな10年へ羽ばたく久保木さんの例会報告は参加した多くの会員さんから情熱や学びをもった良い例会だったと感想をいただきました。経営者の想いを成文化して伝えることで経営者が考える幸せのかたちを信頼する仲間へ伝え続ける、そして聞き続ける、変わり続ける。実践し続けるその先に社員の幸せがあるのかなと思いました。

(レポート:鈴木 達也さん)

## 水戸支部



12月26日(木) 茨城県総合福祉社会館にて  
『「やりがい」を創造する  
人気のない業種でも人を集め、  
社員のやる気を引き出しビジョン達成する方法』  
報告者:安部 徹さん 共栄通信工業(株) 代表取締役

安部さんのユニークな自己紹介から例会は始まり、人気のない建設業で人を集め、どのようにして社員のやる気を引き出しビジョンを達成してきたかの実践報告に、次第に参加者の皆さんがあなたのワールドに吸い込まれて行きました。まだ見ぬ人の求人にはお金を掛けず想いを書き、目の前の社員の将来の為の福利厚生にお金を掛けることで、共栄電気の社員の方たちが会社のビジョンに共感しやりがいをビジョン達成をした未来に見出し、主体的にビジョン達成に係わっていく姿の報告に、ビジョンの指す未来に「共感」を得る必要性を学んだ例会でした。

(レポート:山野 和哉さん)

南西・県西・ドラゴン支部合同 12月12日(木) 麗風つくばシーズンズテラスにて

## SWDアワード2019

毎年恒例の県南三支部(南西・県西・ドラゴン)合同、第3回 SWDアワードが麗風つくばシーズンズテラスで開催されました。今年度同友会活動を通して経営者としての資質を高め、今年最も輝いた企業を称える経営大賞、各支部例会において素晴らしい報告がなされた例会大賞、この各賞にノミネートされた3支部代表の方々が一同に集まり、最終プレゼンが行われました。

経営大賞にノミネートされたのが、南西支部、(株)あおばの宇田川真由美さん、県西支部、(株)つくば食品の八巻大介さん、ドラゴン支部、(株)シリアルスフィットネスの岩佐英明さん。そして例会大賞に選ばれたのが、南西支部からは(株)すぎのやの飯田智子さん、県西支部から(有)スズランロードハウスの生井浩司さん、ドラゴン支部からは(社福)河内厚生会の雜賀正志さんがノミネートされました。

経営大賞は選出者自身が10分間のプレゼンを、例会大賞は、各例会を担当した座長が5分間のプレゼンを務め、それぞれの想いを熱く語っていました。

栄えある最優秀賞の栄冠を手にしたのは、経営大賞が八巻大介さん、そして例会大賞は雜賀正志さん(プレゼンは青木恵之さん)が受賞されました。ノミネートされたどの報告者の方の発表も素晴らしく、得票数も僅差でした。

その他、最多例会出席者賞・最優秀仲間づくり賞の発表がありました。受賞者には茨城県信用組合様からも副賞をいただき、今年も大盛況の中、幕を閉じました。



## 経営者の基礎講座のご案内

第5講  
組織づくり

個々の違いを活かしたチームづくり  
~社員を一人の人として尊重し、その個性を生かすために~  
講師:堀田 誠氏 (株)Co-Lab 取締役  
日時:2020年2月14日(金)18:00~ホテルベストランドにて

第6講  
リーダーシップ論

経営の「質」を高めるリーダーシップとは(仮)  
~どうすれば人が育つか。これからの経営者に必要なこと~  
講師:鬼澤 慎人氏 (株)ヤマココーポレーション 代表取締役  
日時:2020年3月2日(月)18:00~つくばイバーションプラザにて

※参加費各2,000円

※定員各20名程度



お申し込みはFAXまたはe-doyuで!!

【編集後記】会員の皆さんには会報誌作成にご協力いただきありがとうございます。  
我が家には中学生の娘と息子がおります。思春期真っただ中ではありますが、学校や友達の事、進路や好きな芸能人についてなどなど会話を途切れることなく、親子関係は良好(だと信じて!)。問題なのは、子供たちから発せられる言葉の意味が分からぬということ...。気持ちよく饒舌に話してくれているのに、「どうゆう意味?」と話の腰を折るものどうかと思い、後でこっそりGoogleさんに教えてもらっています。そういう言葉を使うことをダメとは言いませんが、せめてきれいな日本語もたくさん覚えてもらいたい! そこで読書感想文用に宮尾登美子著「天涯の花」を薦めてみました。昔の作品なので「バズって」いるわけでもなく、作中「突る」シーンもなく、本なので「ラグ」こともありません。奥ゆかしく情緒あふれる表現満載の文章で、日本の美しさや情景を手に取るようを感じられる本です。言葉というものは「言霊」というくらい、魂を持って相手の心に響くもの。きれいな言葉から生まれるかけがえのない日常。いつかそれを子供たちが「エモい」と感じされることを願って...。(Shimo)